

フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	四街道市				フッ化物洗口開始年度		未実施
保育所数	0/2 (公立)						
保育園数	0/3 (私立)	幼稚園数	0/9	小学校数	0/12	中学校数	0/5
	0/4(認可外)						

※ 実施施設数/全施設数 (H19年3月31日現在)

※

【フッ化物洗口に関する前年度までの経緯】

歯科保健担当者がフッ化物応用についての研修会に参加し、フッ化物応用についての知識を深めてきた。

【推進体制づくりの経緯】

実施事項	具体的な内容	評価
施設職員へ説明	<p>8月末にモデル事業実施施設を県に照会する際、保育所の管轄である児童家庭課長へ事業説明を行なった。モデル予定施設への説明については、モデル事業実施決定後に担当課より行なうことになり、10/3(火)モデル事業実施施設となった旨を電話にて報告。</p> <p>【施設①】 四街道市立中央保育所 5歳児(31名)</p> <p>【施設②】 四街道市立千代田保育所 5歳児(33名)</p>	<p>中央と千代田保育所は公立の保育所であり、実施の検討にあたり連絡調整がしやすいと判断し、歯科保健担当者が選定。</p> <p>事業実施の詳細については、嘱託歯科医師と検討後に説明することとした。</p>
歯科医師会 理事会	<p>10/16(月)歯科医師会理事会にてモデル事業についての説明を行う。</p> <p>実施施設予定の嘱託医と連携し実施の有無を検討していくことになった。</p>	<p>理事会への説明時には、モデル事業実施について反対の意見はなかった。</p>
施設嘱託歯科医師へ事業説明	<p>10/18(水)電話にてモデル事業説明。関係書類送付。</p> <p>【施設①の嘱託歯科医へ】 【施設②の嘱託歯科医へ】</p>	<p>嘱託歯科医師に助言をもらえるよう依頼。</p> <p>この時点では協力の有無についての回答はなく、後日歯科医師会理事より、施設①の嘱託医より実施協力できないという回答があったと報告あり。</p> <p>施設②については、2/15に保育所の年齢では、実施に無理があるとのことで、実施協力はできないとの回答あり</p>

健康づくり推進協議会	10/26（木）に保健所、医師会等の医療関係団体の代表、学校及び各団体の代表、知識経験者の15人で組織する「健康づくり推進協議会」にてモデル事業についての説明を行う。 委員より、19年度以降のモデル事業について質問あり。予算内での実施継続の予定と回答。	医師会や学校関係団体の代表からは、特に事業実施についての意見はなかった。
関係施設職員研修会	1/27（土）日本大学松戸歯学部小林教授を講師に、フッ化物洗口によるむし歯予防に関する研修会を実施。参加者は、幼稚園職員1名、保育所職員8名（施設①と②）、歯科医師2名（歯科医師会理事、他）、保健推進員2名、市職員16名（看護師、保健師、栄養士、助産師、歯科衛生士等）その他4名	フッ化物応用についての安全性や有効性について理解ができた。洗口体験も有効だった。 モデル施設①、②の職員の参加あり。当該嘱託歯科医の参加なし。
フッ化物洗口の 実施見送り	施設①及び施設②とも嘱託医の賛同が得られず、実施の有無の検討までには至らなかった。 施設①と施設②	

【問題となったこと・今後の課題とその対応について】

実施施設嘱託医（歯科医師）のフッ素洗口実施についての賛同が得られず、市で設定した施設での事業実施に向けての検討は行えなかった。

フッ化物洗口実施に向けて、関係機関との意見交換の場を設けなかったことや短期間での実施計画に無理があったと思われる。

今後、事業を計画・実施するにあたっては、地元歯科医師会や実施施設職員等関係機関との意見交換、連携を密に行い慎重に進めていく必要がある。

【19年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無】

18年度にフッ化物洗口事業実施について検討していた施設にて、19年度フッ化物洗口事業を実施予定していたので、フッ化物の医薬材料費を予算化したが、事業実施については、歯科医師会の中でもフッ化物洗口事業実施に対しての意志統一が図られていない状況での実施は難しいので、19年度の事業実施はなし。

市町村名 四街道市

【活用した参考資料や文献 ※特に有効だったもの】

名 称	概 要	活用場面	費用や入手先等
【記録写真等】			
な し			